

サーキュラー・エコノミー から考える脱炭素社会とSDGs

参加費
無料

北九州市環境ミュージアム開館20周年を記念して、地域の脱炭素化および地域課題解決やSDGs達成に向けて、市民、事業者、研究者、行政がそれぞれどのように行動し、どう連携していくかをサーキュラーエコノミー（CE）の視座から共に考えましょう

2022年11月8日（火）13:30-17:00（13:00受付開始）

会場

〔リアル会場〕北九州市環境ミュージアム内 多目的ホール（定員40名）

〔オンライン〕ライブにて同時配信 ※オンライン参加希望の方には後日URLをお送りします

参加方法 こちらからお申込みください

<https://forms.office.com/r/b3zEJWHJ0G>

※申込〆切：11月4日（金）17時



リアル・オンライン
同時開催

プログラム

- ◇開会挨拶 内藤 弘（北九州市環境ミュージアム 副館長、（株）エックス都市研究所）
- ◇来賓挨拶 村上 恵美子（北九州市環境局 グリーン成長推進部 環境イノベーション支援課長）

◆第1部：基調講演

浅利 美鈴（京都大学大学院 地球環境学堂 准教授）
- 京都の里山からの挑戦。SDGsで地域を変えられるか？！

松本 亨（北九州市立大学 環境技術研究所 都市エネルギーマネジメント研究センター長）
- カーボンニュートラルを先導するサーキュラシティ：北九州における取り組み

瀬戸 啓二（花王（株）研究開発部門 包装技術研究所 兼 ESG部門 ESG活動推進部）
- プラスチック容器包装の資源循環への取り組み「リサイクリーション」の紹介

◆第2部：社会実証プロジェクト報告 「地域におけるCEへの取り組み」

< 報告1 > 紙の地域循環社会実証「KAMIKURU」プロジェクト 2021北九州SDGs未来都市アワード大賞
小橋 祐子（NPO法人わくわく 代表）、東 修（株）エックス都市研究所）

< 報告2 > リターナブル容器のシェアリング実証事業 2021年度環境省研究補助事業
鶴喰 誠（北九州キッチンカー実行委員会 代表）、菊原 淳也（株）エックス都市研究所）

< 意見交換 > 基調講演者、北九州市、報告者、網岡 健司（八幡東田まちづくり連絡協議会 会長）
モデレーター 山田 芳幸（株）エックス都市研究所）

- ◇閉会挨拶 松岡 俊和（北九州市環境ミュージアム 館長）

主催



株式会社 エックス都市研究所
EX Research Institute Ltd.
Environmental and Regional Planning, Research and Consulting

共催



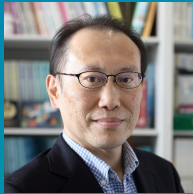
お問合せ

株式会社エックス都市研究所 経営企画部 田口
TEL：03-5956-7503 E-MAIL：taguchi@exri.co.jp
WEB：https://www.exri.co.jp/

基調講演者プロフィール



浅利 美鈴（京都大学大学院 地球環境学堂 准教授）
2000年、京都大学工学部地球工学科卒業。2004年、工学博士。現在は京都大学地球環境学堂准教授。研究テーマは「ごみ」や「環境・SDGs教育」。世界中の「ごみ」や暮らしぶりを観察して歩く日々を送る。社会の縮図として、京都大学のサステイナブルキャンパス化にも取り組む。学生時代に「京大ゴミ部」を立ち上げ、環境啓発・教育活動に取り組み始め、2005年からは、京都議定書達成に向けた「びっくり！エコ100選」、エネルギー問題にアクションを起こす「びっくりエコ発電所」、京都におけるSDGs実装を目指す「エコ〜るど京大」や「京都超SDGsコンソーシアム」「京都里山SDGsラボ（ことす）」などを展開。2022年11月に第15回を開催する「3R・低炭素社会検定」の事務局長も務める。



松本 亨（北九州市立大学環境技術研究所都市エネルギーマネジメント研究センター長）
1992～1995年野村総合研究所研究員、1995～2000年九州大学助手、助教授を経て、2001年より北九州市立大学。2008年より国際環境工学部教授、2021年より環境技術研究所教授。日本環境共生学会常務理事、環境科学会理事、土木学会環境システム委員長、高度資源循環・デジタル化推進協議会運営委員、北九州循環経済ビジョン推進協議会代表なども務める。専門は環境システム工学。SROI研究の他、革新的プラスチック資源循環（NEDO）、地域の脱炭素化加速基盤研究（文科省）等に従事。



瀬戸 啓二（花王^株 研究開発部門包装技術研究所 兼ESG部門ESG活動推進部）
1997年に鐘紡株式会社（現在の株式会社カネボウ化粧品）に入社し、化粧品の研究企画を担当。2019年より花王株式会社にて「リサイクリエーション」活動のリーダーを担当。リサイクリエーションとは、使い終えたものを再び資源に戻す「リサイクル」と、新たに価値を創造する「クリエイション」を合わせることで、従来のような同じモノに戻すのではなく、より楽しいモノ・よりよいモノを創り出す、アップサイクルのこと。「使ったら、捨てる。このあたりまえを変えたい。」のコンセプトのもと、多くのステークホルダーの皆さんと、洗剤やシャンプー等のつめかえパックのリサイクリエーション活動を推進中。

シンポジウム タイムスケジュール	
(13:00開場) 13:30～13:40	開会挨拶 来賓挨拶
13:40～15:25	第1部：基調講演
15:25～15:35	休憩
15:35～15:45	第1部の質疑応答
15:45～16:25	第2部：社会実証プロジェクト報告<報告>
16:25～16:55	第2部：社会実証プロジェクト報告<意見交換>
16:55～17:00	閉会挨拶

<リアル会場へのアクセス>

- JR利用
鹿児島本線『スペースワールド駅』下車、徒歩約5分
- バス利用
西鉄バス『八幡東区役所』または『中央2丁目』下車、徒歩約10分
西鉄バス『東田大通入口』下車、徒歩約5分



環境ミュージアムHP

